



とびっく NEWS & REPORT 1がす



今年で10回目という節目を迎えた今回は、15チームの参加となりました。

熊本県内のチームだけでなく、今回は福岡県から初めての参加があるなど、県外チームも交えて親睦を深めました。

ふうせんバレーボールは、北九州市で考案された、障害者と障害者が一緒になってゲームを楽しめるスポーツです。

直径40センチのふうせんの中には視覚に障害のある方が音を頼りに位置がわかるように鈴が2つはいついています。

福祉センターBチーム(熊本市)の代表による選手宣誓のあと、午前中は予選リーグ、午後は順位グループでのトーナメントが行なわれました。

コート内にいる全員がふうせんに触れないと相手コートに返せないというルールがあり、選手のみならず

んは、お互いに助け合い、励ましあいながらゲームに参加していました。

また、力のかもったプレーでふうせんが割れてしまうこともありました。また、ア

タックでは、ミニバレーと変わらないほどのスピードと力で、見ているほうが圧倒されるほどでした。

決勝は、福岡県勢同士の対戦となりました。熱戦の結果、オアシスがやまびこスマイルを下し初優勝しました。

今回も熊本市体育指導委員や学生ボランティア、手話通訳の方々のご協力のもと無事に開催することができました。ありがとうございました。

つぎにきました。参加チームの皆さん、大変お疲れ様でした。

最終結果

優勝 オアシス(福岡)
準優勝 やまびこスマイル(福岡)

夢をトスして… 第10回わくわくふうせんバレーボール大会

11月11日(土) アクアドームくまもと

第15回 利用者親睦 ミニバレーボール大会

11月18日(土)
南部総合スポーツセンター

1位パートの試合はやはりレベルが高く、手に汗握る熱戦をくりひろげていました。

そのほかのパートの試合も、チーム一丸となって、上位を目指してボールを必死で追いかけていました。今回の試合方法は参加者のみなさんに大変好評でした。

また、お楽しみ品の賞品は、上位チームほど豪華(?)にしましたので、がんばったチームほど良かったと思います。

今回は、参加チームすべての順位ができましたので、来年の大会に向けて上位を目指し、日々の練習にがんばる意欲が出たのではないかと思います。

り上がるように、参加チーム全員の親睦が深まるように、私たち職員も工夫をこらしていく努力をしたいと思います。

今回参加していただいたチームはもちろんです。大会に参加するのをちょっとためらっていたチームのみなさん、大会に参加してみませんか?きっと楽しんでいただけるとと思います。

参加されたチームの皆さん、大変お疲れさまでした。

優勝 エフジェルハート
2位 シャイター
3位 日吉東

ご応募ありがとうございました

くまもと スポーツ フォトコンテスト 2006

「心とからだの健康」をテーマに、熊本県内のスポーツシーンが寄せられました。誠にありがとうございました。

11月22日(水)に、熊本市総合体育館・青年会館ホールにおきまして、審査会をおこない、厳正な審査の結果、フィルムカメラ部門、デジタルカメラ部門の各部門におきまして、大賞をはじめとした各賞が決定いたしました。

2月号では入賞作品の紹介と表彰式の模様をお伝えする予定です。